
2014年7月期 決算説明会

Company Information

2014年9月

TORIKIZOKU_∞

株式会社 鳥貴族
(証券コード: 3193)

目次



1. 会社概要	2
2. 2014年7月期 通期業績	10
3. 中期経営計画	19

会社概要

TORIKIZOKU_∞
トリーキゾク_∞



会社概要



社名	株式会社 鳥貴族
設立	1986年9月19日
本社	大阪市浪速区立葉1-2-12
代表者	代表取締役社長 大倉 忠司
資本金	550,356,000(2014年7月末現在)
店舗数	店舗数 363店舗 (2014年7月末現在) ●直営 190店舗 ●TCC ^{*1} 173店舗
従業員数	従業員数 424名 (2014年7月末現在) (外、平均臨時雇用者数 ^{*2} 1,404名)
営業内容	「鳥貴族」の営業とカムレードチェーン事業
事業所	●大阪本社・タレ製造工場 ●東京事務所 ●名古屋事務所

*1 当社では、一般的なフランチャイズチェーンよりも強固なビジネスパートナーとしての関係性を確保することを目的として、限られた加盟店オーナーを「カムレード」と称しており、TCCは鳥貴族カムレードチェーンの略です。

*2 平均臨時雇用者数は、1日の労働時間を8時間で換算した年間平均の人数です。



永遠の理念

「鳥貴族のうぬぼれ」

「焼鳥屋で世の中を明るくしていきたい」
という想いを永遠に持ち続けます

永遠の使命

飲食業を通し、社会貢献していく事により

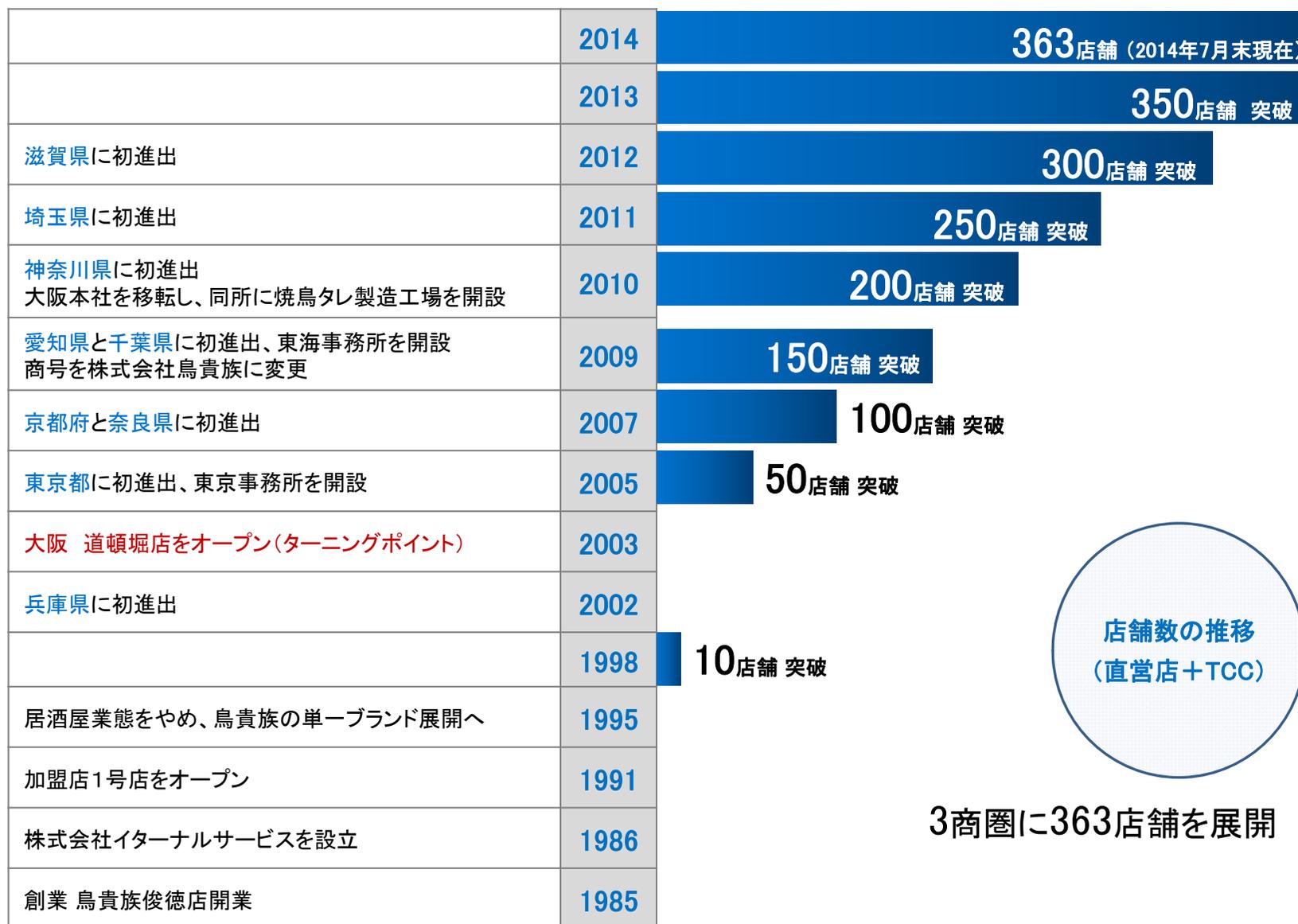
「**外食産業の社会的地位向上**」を目指します

永遠の目的

「永遠の挑戦」「永遠の感謝」「永遠の奉仕」を基本に

「**永遠の会社**」として永続、成長させていきます

沿革



事業内容



- 「鳥貴族」単一業態によるチェーン展開

【店舗コンセプト】

280円均一(税抜)の感動

低価格

&

高価値

280円均一

- ・トータルの料金が分かりやすい
- ・お得なメニューを探す楽しさ

商品

- ・高品質の焼鳥
- [国産鶏肉使用・お店で串打ち・手作りのタレ]

サービス

- ・元気でホスピタリティあふれる接客

空間

- ・木の温もりを感じる非日常空間

事業内容



低価格

フードメニューは全部で60品程度



- ・メニュー改定で半年に1度、10品程度入れ替え
- ・均一価格はメリハリが重要

● FOODメニュー 60種類以上
● DRINKメニュー 70種類以上

全品280円均一（税抜）



事業内容



高価値

商品

- ・高品質の焼鳥
- [国産鶏肉使用 ・お店で串打ち ・手作りのタレ]



サービス

- ・元気でホスピタリティあふれる接客



空間

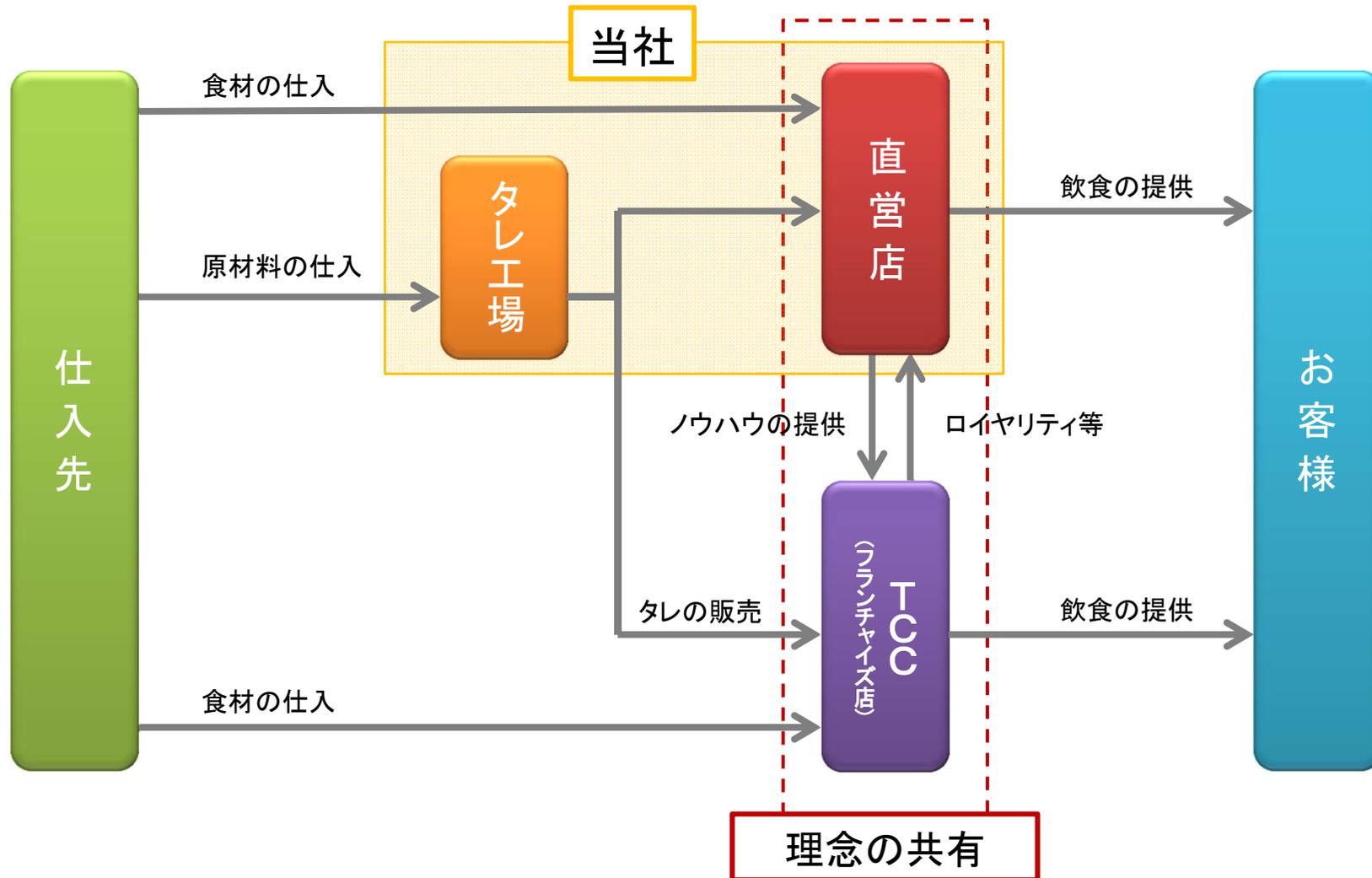
- ・木の温もりを感じる非日常空間



事業系統図



タレ工場以外、セントラルキッチンを保有せず、各店舗で仕込み ⇒ 手作りの強み



2014年7月期 通期業績

TORIKIZOKU_∞
TORIKIZOKU_∞



業績概要



⇒2期連続増収増益を更新

■売上高(前期比113.6%)

✓店舗数増加に伴う売上拡大(21店舗純増)及び既存店売上の増加(前期比101.4%)

■営業利益率(前期比+1.7%)

✓新規出店計画精度向上に伴う新店赤字額減少による利益率の増加

✓売上増加に伴う間接部門経費比率の減少

(単位:百万円)

	2013年 7月期 実績 (売上比)	2014年7月期					
		予想 (売上比)	実績 (売上比)	前期比		予想比	
				金額	%	金額	%
売上高	12,864	14,422	14,616	+1,752	113.6%	+194	101.3%
営業利益	392	644	690	+298	176.0%	+46	107.1%
	3.0%	4.5%	4.7%				
経常利益	492	786	831	+338	168.8%	+45	105.7%
	3.8%	5.5%	5.7%				
当期純利益	212	404	410	+197	193.3%	+6	101.5%
	1.6%	2.8%	2.8%				

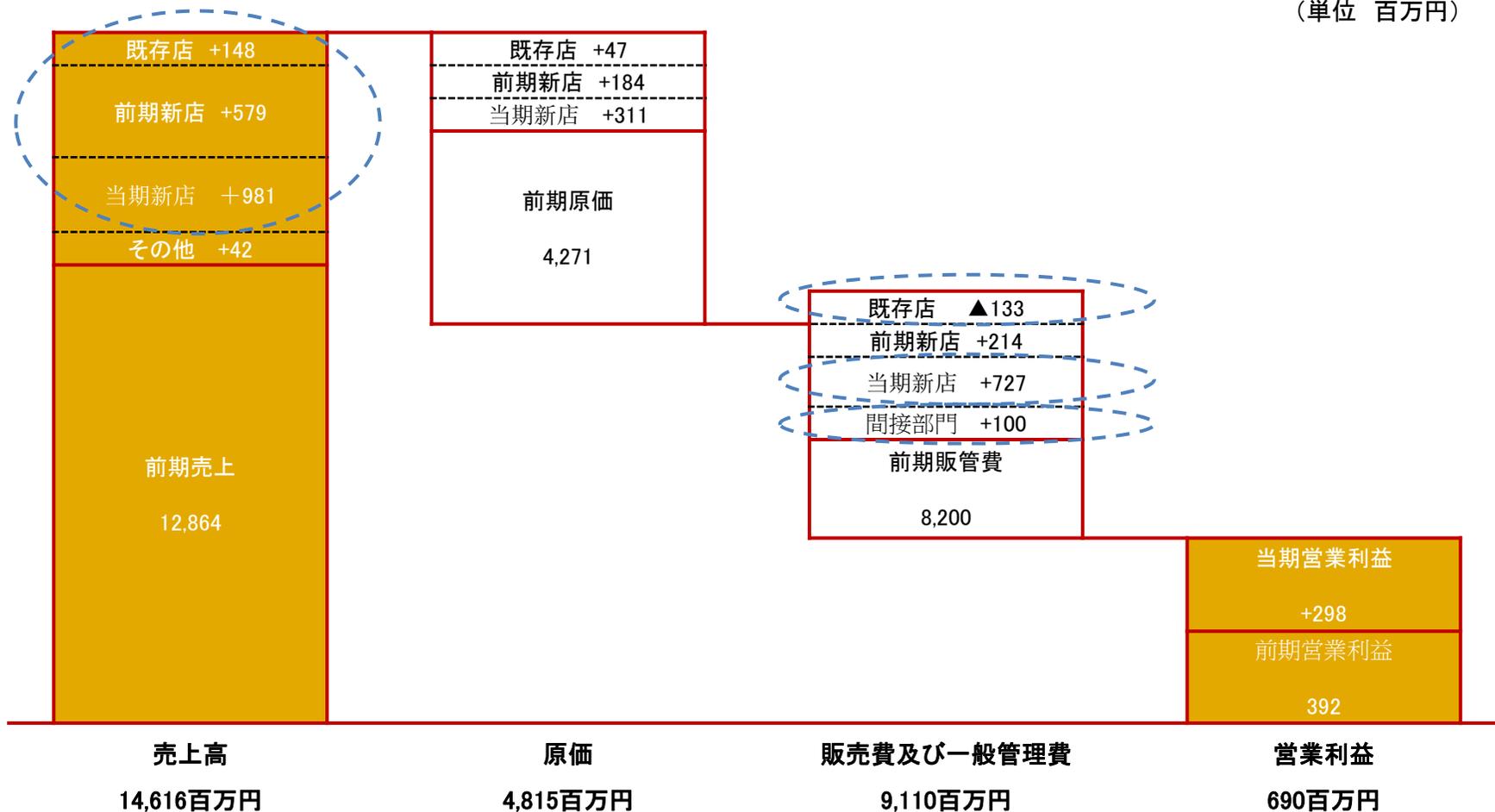
業績概要(対前年度増減要因)



■ 営業利益 298百万円の増益

- ✓ 既存店売上の好調並びに新規出店により、直営店舗売上1,708百万円増加
- ✓ 新規出店による余剰正社員吸収に伴う既存店コストの削減
- ✓ 新規出店による経費増加と上場に伴う関連費用並びに管理体制強化による間接部門経費の増加

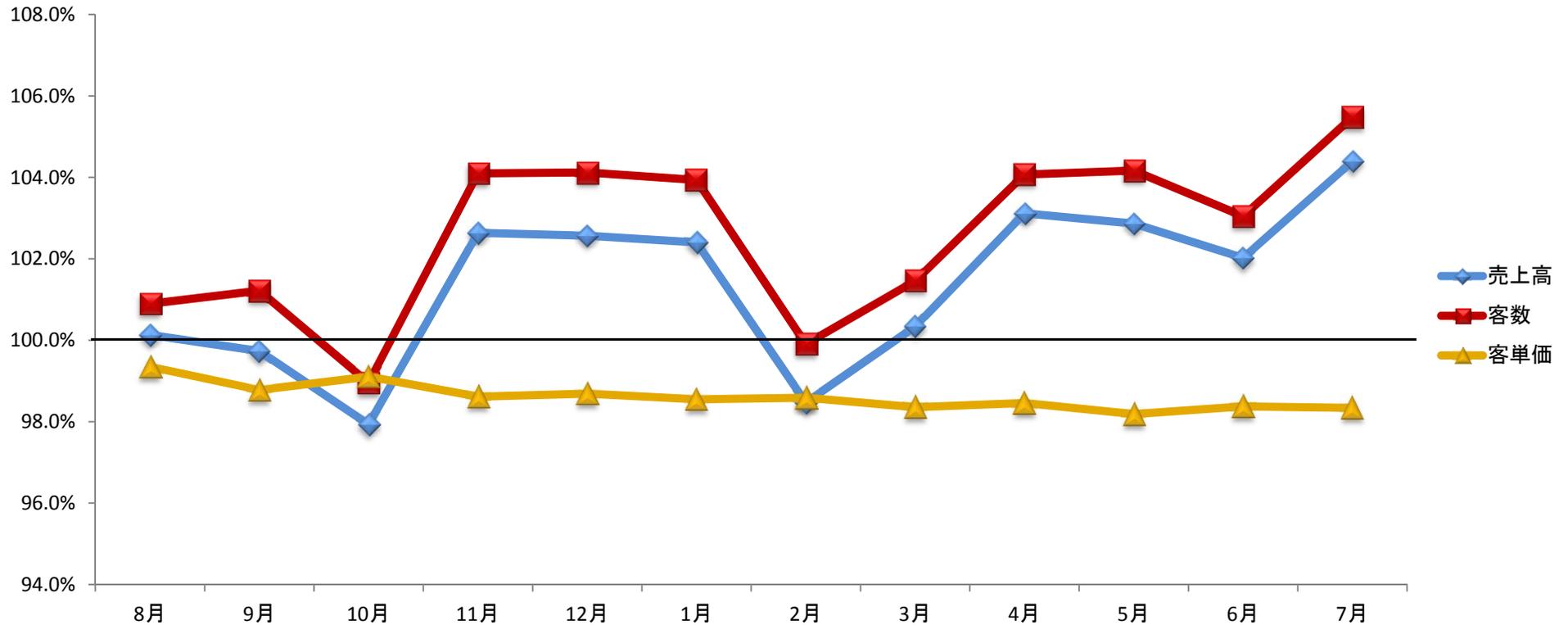
(単位 百万円)



既存店売上高前年比推移



■ 既存店売上 前年比 101.4%
 ✓ 客数増加による売上増加



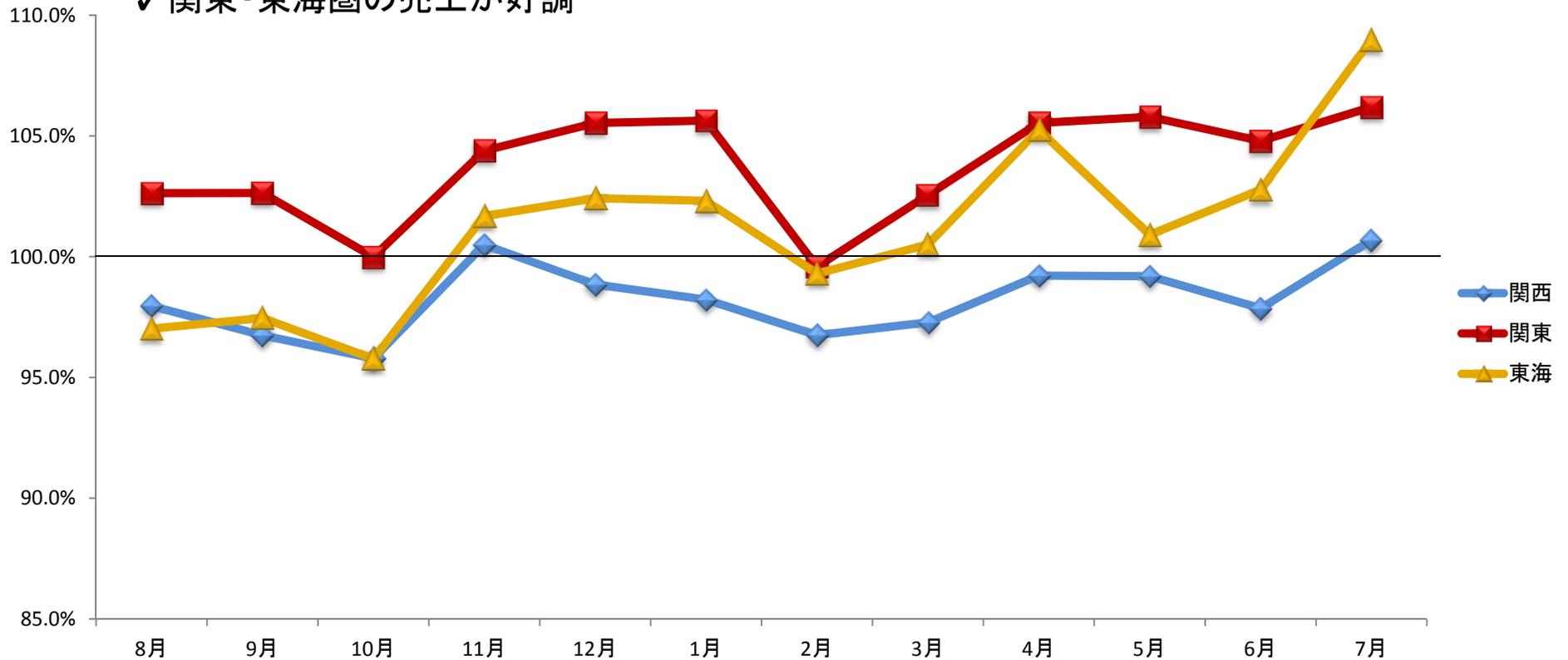
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	通期
売上高	100.1%	99.7%	97.9%	102.6%	102.6%	102.4%	98.5%	100.3%	103.1%	102.9%	102.0%	104.4%	101.4%
客数	100.9%	101.2%	99.0%	104.1%	104.1%	103.9%	99.9%	101.5%	104.1%	104.2%	103.0%	105.5%	102.7%
客単価	99.4%	98.8%	99.1%	98.6%	98.7%	98.5%	98.6%	98.4%	98.5%	98.2%	98.4%	98.3%	98.6%

既存店売上高前年比推移(商圈別)



■ 既存店売上 前年比 101.4%

✓ 関東・東海圏の売上が好調



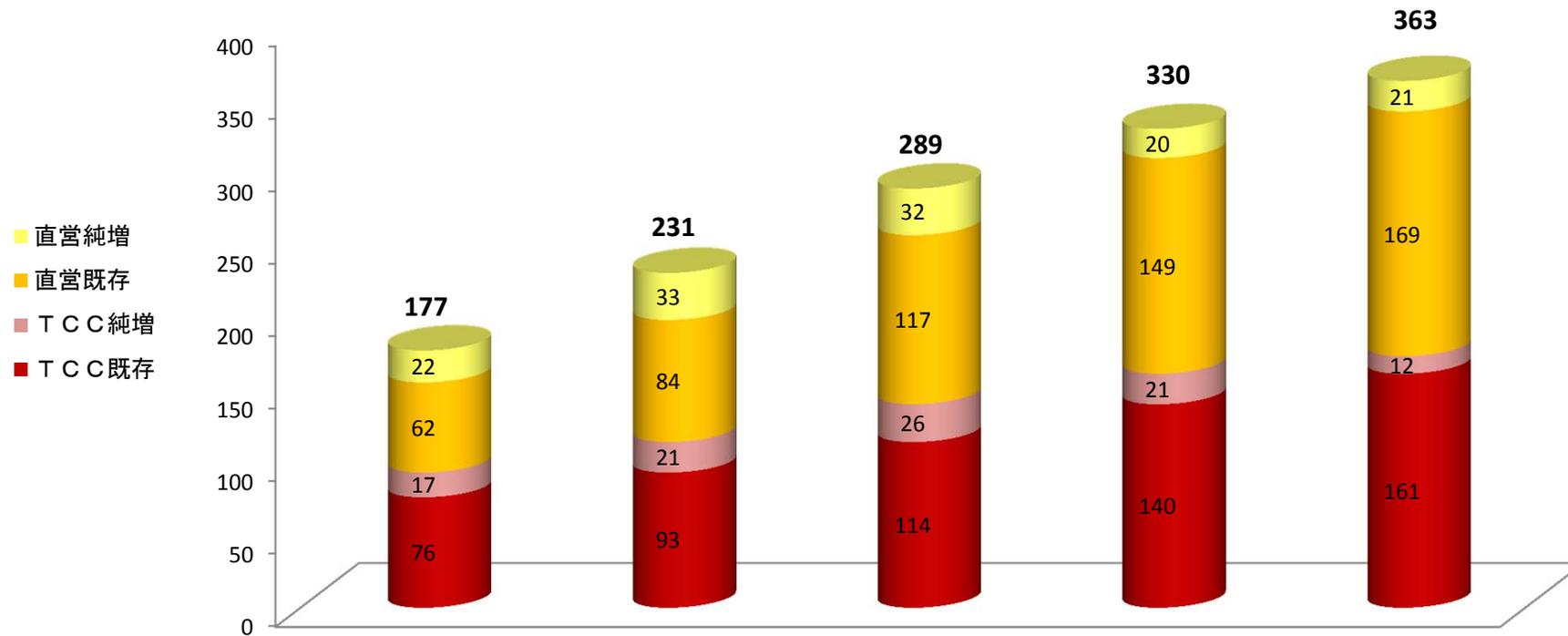
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	通期
関西圏	98.0%	96.7%	95.8%	100.5%	98.8%	98.2%	96.8%	97.3%	99.2%	99.2%	97.9%	100.7%	98.3%
関東圏	102.6%	102.6%	100.0%	104.4%	105.5%	105.6%	99.6%	102.6%	105.5%	105.8%	104.8%	106.2%	103.9%
東海圏	97.0%	97.5%	95.8%	101.7%	102.4%	102.3%	99.3%	100.5%	105.3%	100.9%	102.8%	109.0%	101.3%

店舗推移



■ 通期37店舗の新規出店(直営 22店舗 TCC 15店舗)

✓ 関東圏での出店を加速(新規出店37店舗中22店舗が関東圏)



		2010年7月期	2011年7月期	2012年7月期	2013年7月期	2014年7月期
合計	期末合計	177	231	289	330	363
直営	期末店舗数	84	117	149	169	190
	出店	22	34	34	20	22
	退店	0	△ 1	△ 2	0	△ 1
TCC	期末店舗数	93	114	140	161	173
	出店	17	22	26	21	15
	退店	0	△ 1	0	0	△ 3

財務概要(貸借対照表)



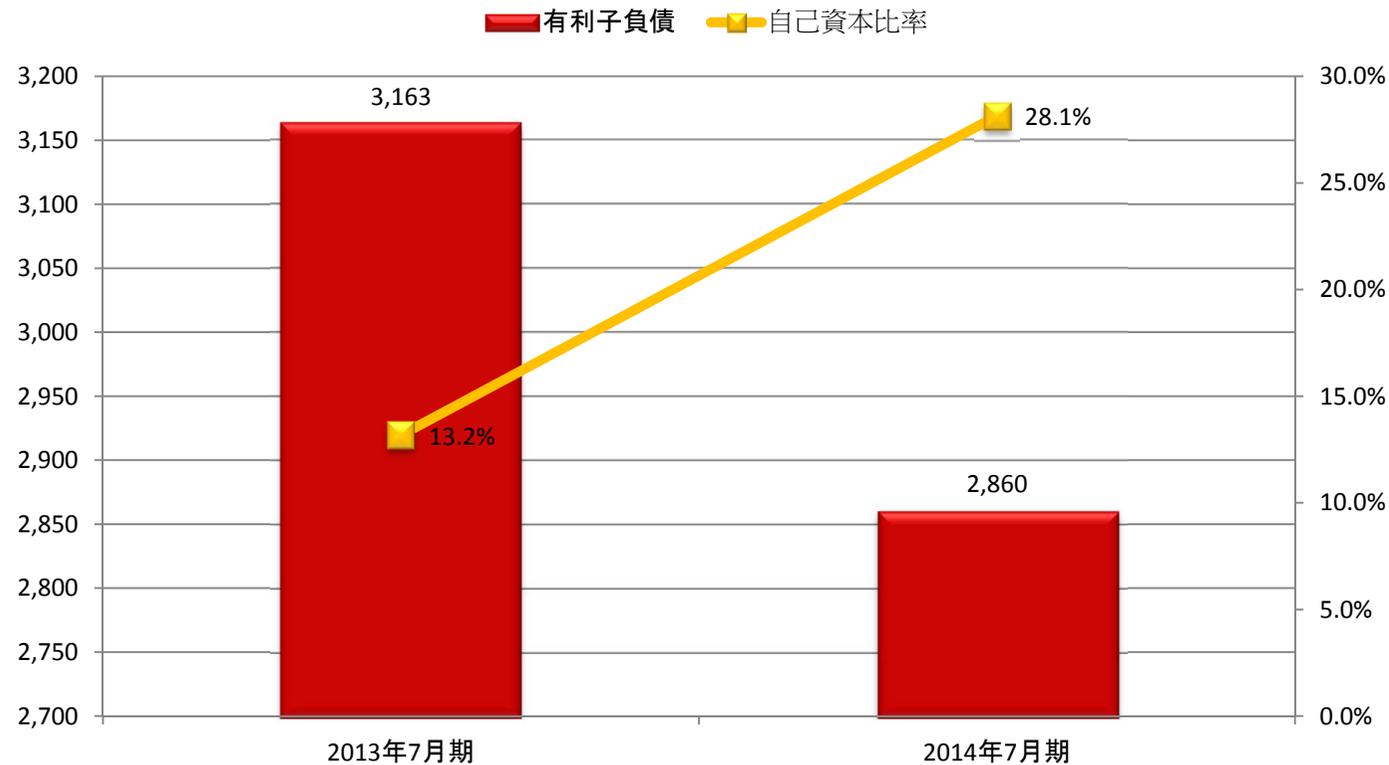
- 増資による流動資産並びに純資産の増加(+950百万円)
- 店舗増加による固定資産・営業債務の増加(21店舗純増)

	2013年 7月期	2014年 7月期	前年差異	主な増減内容
資産の部				
流動資産	2,388	3,614	1,225	増資に伴う現預金の増加 店舗数増加による営業債権・棚卸資産の増加
固定資産	3,776	4,106	329	店舗数増加による建物付属設備・差入保証金の増加
資産合計	6,165	7,720	1,554	
負債の部				
流動負債	2,811	3,262	450	店舗数増加による営業債務の増加
固定負債	2,541	2,284	△ 256	金融機関への借入返済額が新規借入額を上回ったことによる減少(新規出店数減少によるもの)
負債合計	5,353	5,547	194	
純資産の部				
純資産合計	812	2,173	1,360	増資による資本金並びに資本剰余金の増加 当期利益純利益の計上

財務概要(有利子負債・自己資本比率)



■増資・増益により、自己資本比率の向上(+14.9%)



	2013年 7月期	2014年 7月期	前年差異
有利子負債	3,163	2,860	△ 303
自己資本比率	13.2%	28.1%	14.9%

※有利子負債とは短期借入金・1年内返済予定の長期借入金・リース債務・長期借入金・長期リース債務を加算したものです。

業績予想・配当政策



■売上高前期比118.2%、経常利益前期比108.3%を予想

- ✓直営店40店舗新規出店により、売り上げ規模拡大
- ✓新規出店による費用拡大並びに上場に伴うキャンペーン等実施により利益率の減少

■通期1株当たり20円の配当を実施予定

- ✓成長戦略への内部留保を優先するが、安定的かつ継続的な配当を実施

(単位:百万円)

業績予想	2014年 7月期	2015年 7月期	対前年比	
	(売上比)	(売上比率)	金額	%
売上高	14,616	17,269	+2,653	118.2%
営業利益	690	974	+284	141.1%
	4.7%	5.6%		
経常利益	831	900	+69	108.3%
	5.7%	5.2%		
当期純利益	410	500	+90	122.1%
	2.8%	2.9%		
配当政策	2014年7月期 通期	2015年7月期 通期	対前年比	
1株当たり配当	10円	20円	+10円	
配当性向	3.2%	6.6%	+3.4%	

中期経営計画

TORIKIZOKU_∞



【経営方針】 単一業態によるチェーン展開

【中期経営目標】

- 3商圈 500店舗 売上高250億円
- 既存店売上 年間101%上昇
- 経常利益率 5%以上維持

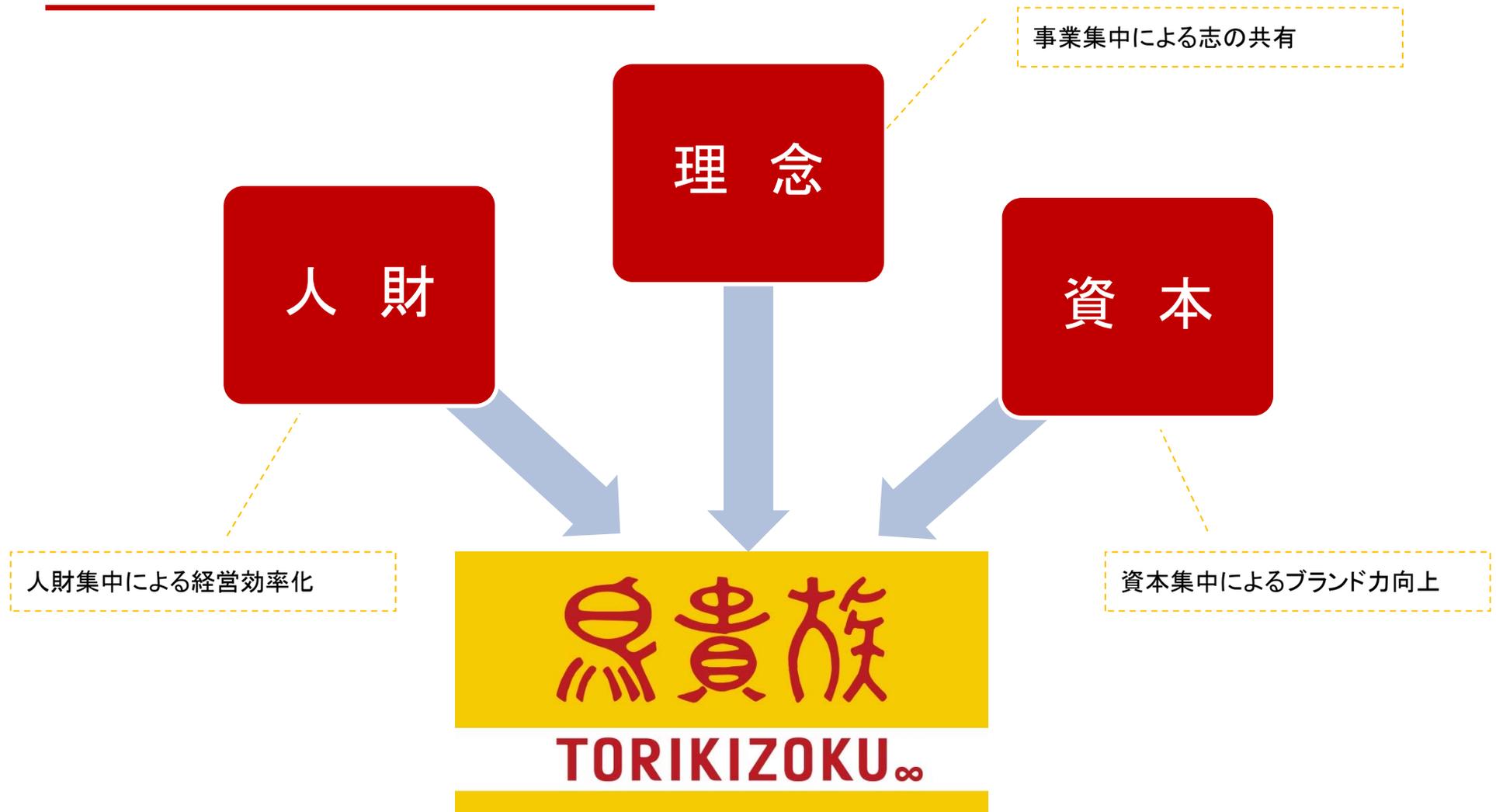
【重要施策】

- ✓ 新規出店の強化
 - ✓ 国産国消への挑戦
 - ✓ ホワイト企業への取り組み
- ブランド向上

経営方針

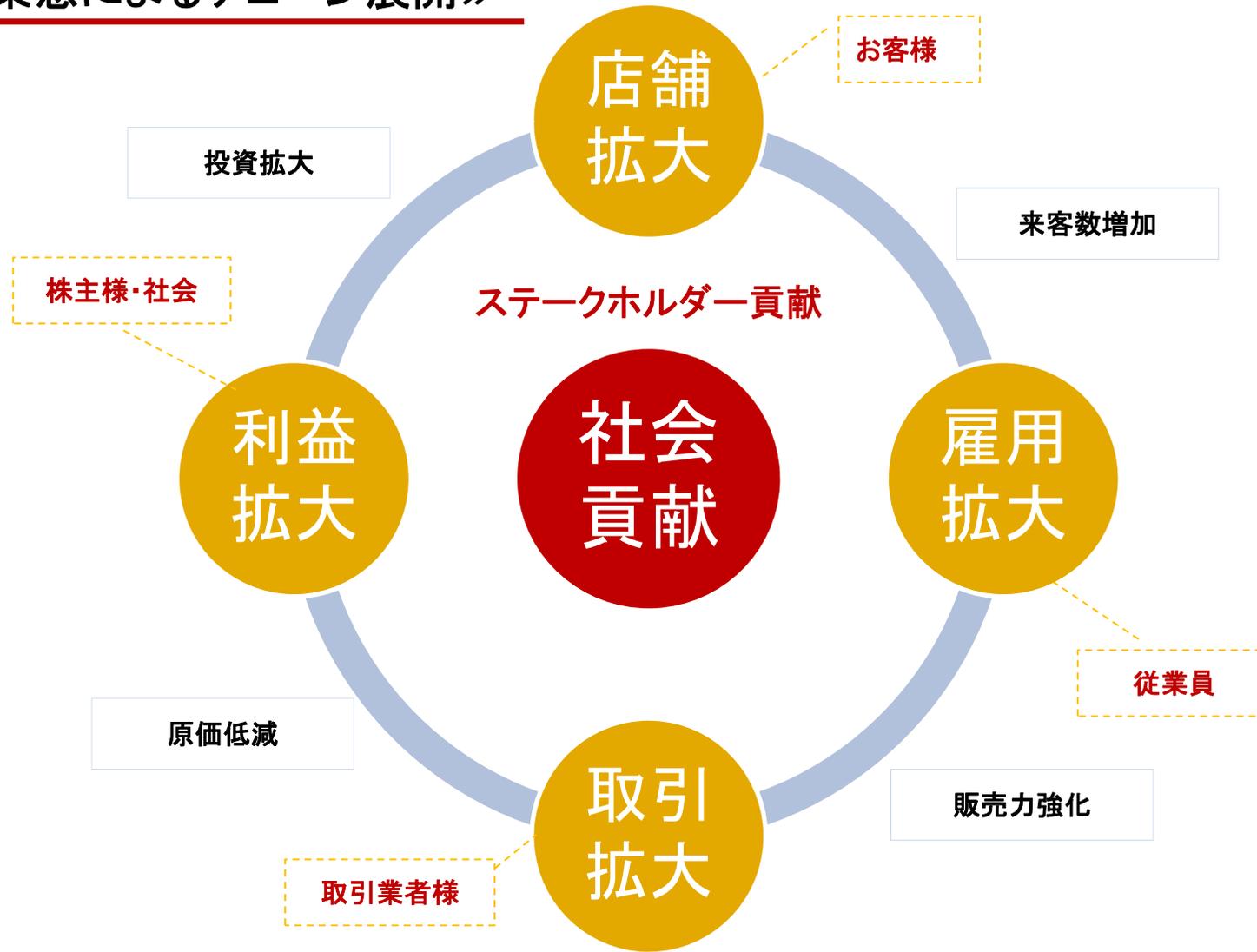


《単一業態によるチェーン展開》





《単一業態によるチェーン展開》



- 1 新規出店の強化
- 2 国産国消への挑戦
- 3 ホワイト企業への取り組み



1 新規出店の強化

2

3

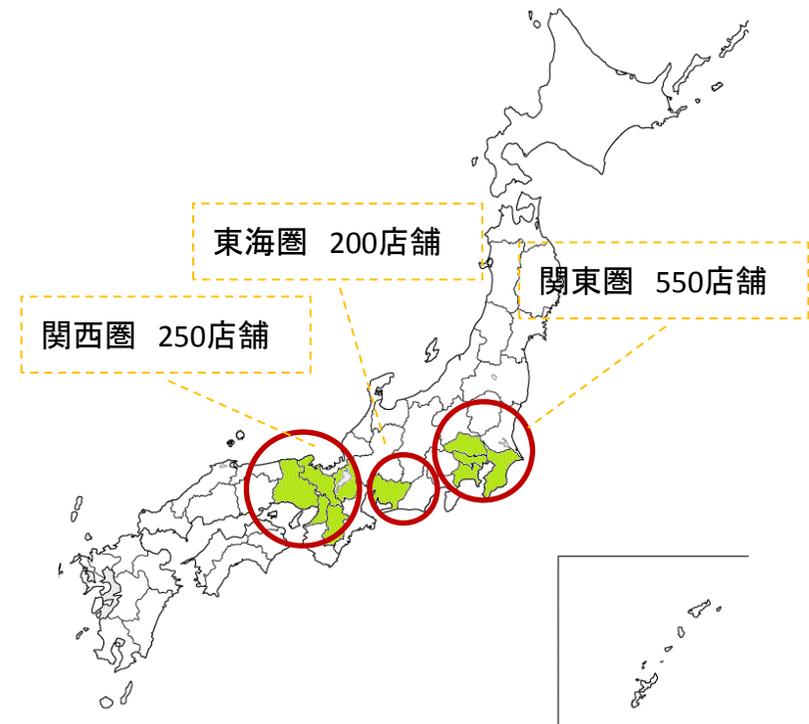
重要施策 ① 新規出店の強化



中期目標 3商圈500店舗

2021年1,000店舗体制へ

- 商圈調査から3商圈の出店可能店舗数は1,027店舗
- 関東圏・東海圏の既存店売上好調を背景に2商圈の直営店出店を加速
- 物件情報の取得、調査のための人員など社内体制強化で、出店決断を迅速化



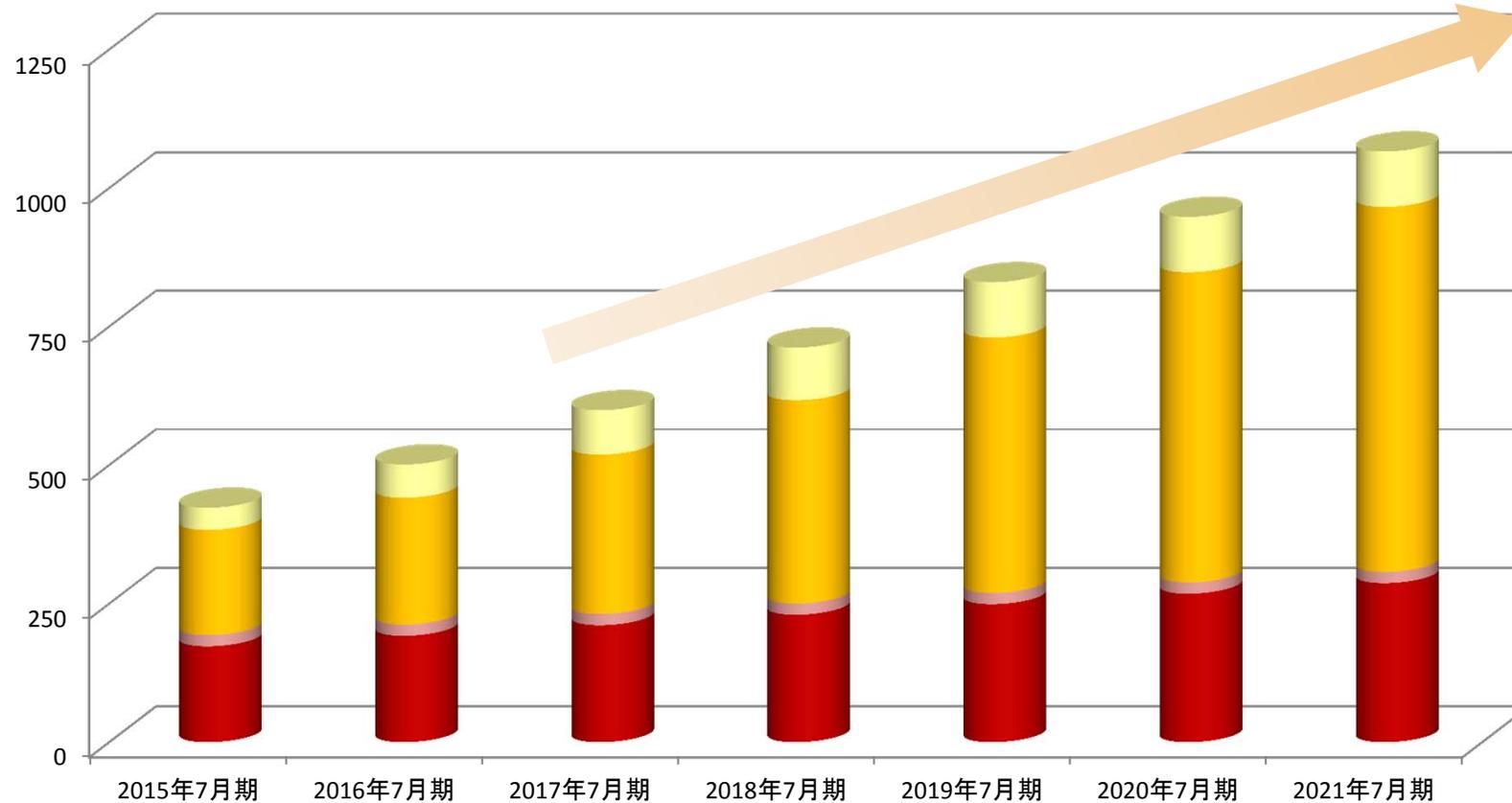
※3商圈 1,000店舗の出店可能性について

大阪府の限界店舗数を150店舗(2014年7月期末 139店舗)と仮定した場合の1店舗当たり推計来街人口(各都府県における20~40代人口と酒場事業所数から算出)を基準値とし、各都道府県の推計来街人口から基準値で除した数値を出店可能店舗数とした結果、関東圏(1都3県)東海圏(4県)関西圏(2府4県)において1,000店舗可能となる。

重要施策 ① 新規出店の強化

【出店計画】

■ TCC既存 ■ TCC純増 ■ 直営既存 ■ 直営純増



∞
国内2,000店
海外進出

2014年7月期
期末店舗数
363店舗

中期目標
2017年7月期
500店舗達成

長期目標
2021年7月期
1,000店舗達成

2021年7月期以後
国内2,000店舗
海外進出

1

2

国産国消への挑戦

3

重要施策 ② 国産国消への挑戦



鳥貴族は、
国産国消に
挑戦します。

この国でつくられた食材を、この国で消費する。

鳥貴族は、国産国消へと歩み始めました。

安心・安全、そして新鮮で美味しい国産の食材を使用することで、

日本の生産者を支援し、日本の未来に貢献する。

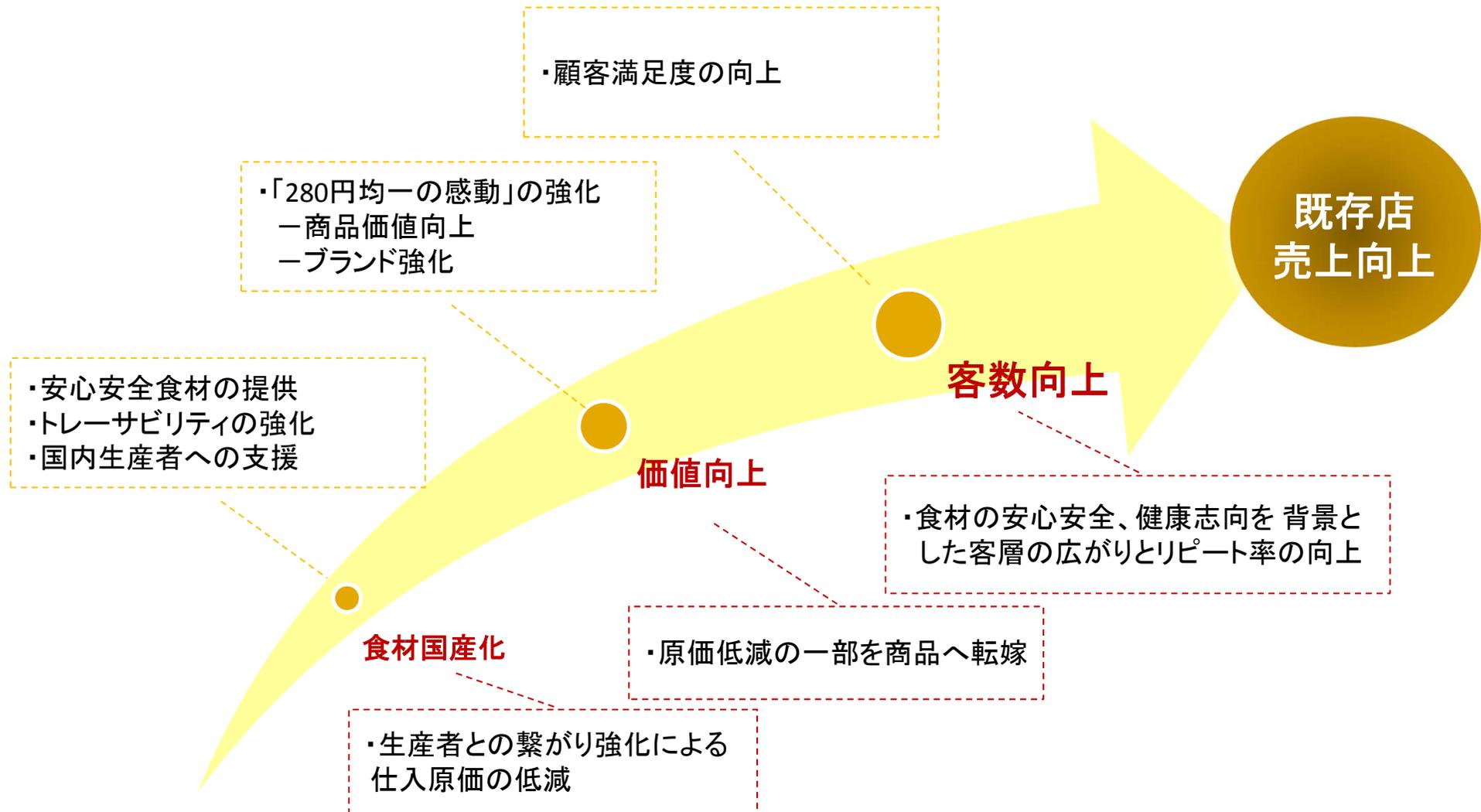
それが私たちの新しい挑戦です。



重要施策 ② 国産国消への挑戦



“国産国消への挑戦”＝食材国産比率100%を目指す



1

2

3 ホワイト企業への取り組み

重要施策 ② ホワイト企業への取り組み



日本一の、
ホワイト企業を
つくろう。



重要施策 ③ ホワイト企業への取り組み



出店加速に対応した人財の育成・確保を図る

労働環境の改善

(人事制度の見直し)

- 賃金体系・労働時間・福利厚生を含めた制度全体の再構築

人財の育成

(研修制度の拡充)

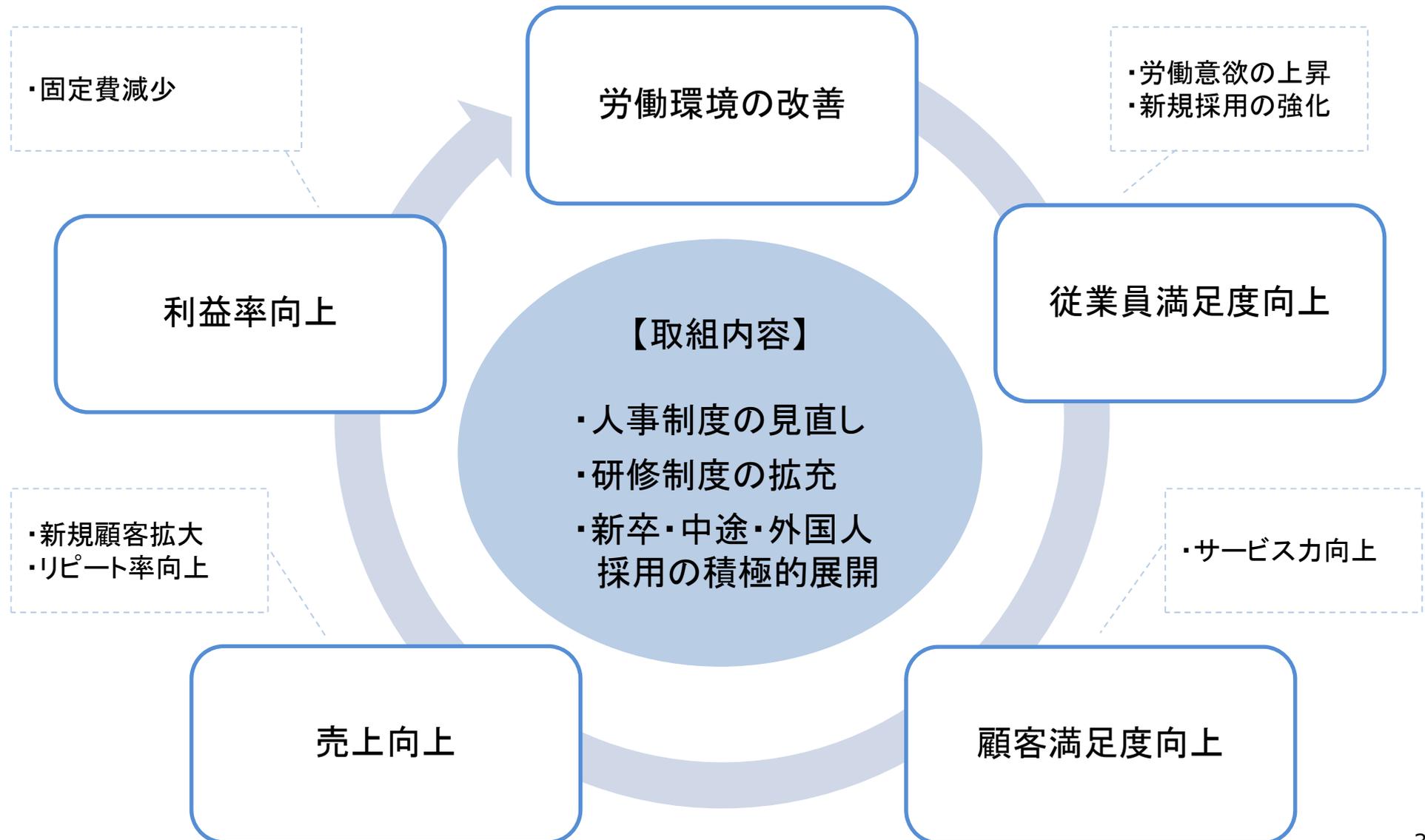
- 中間管理職であるマネージャー教育の強化 (社内MBA研修の実施)
- 各役職、階層別に応じた研修プログラムの充実
- 店舗責任者育成の早期化

人財の確保

(新卒・中途・外国人採用の積極的展開)

- 外食産業に限らない経験豊富な人材の招聘
- 外国人アルバイトの積極的採用 (関東においては4人に1人のアルバイトが外国人)
- パートタイマー・アルバイトからの社員登用

重要施策 ③ ホワイト企業への取り組み

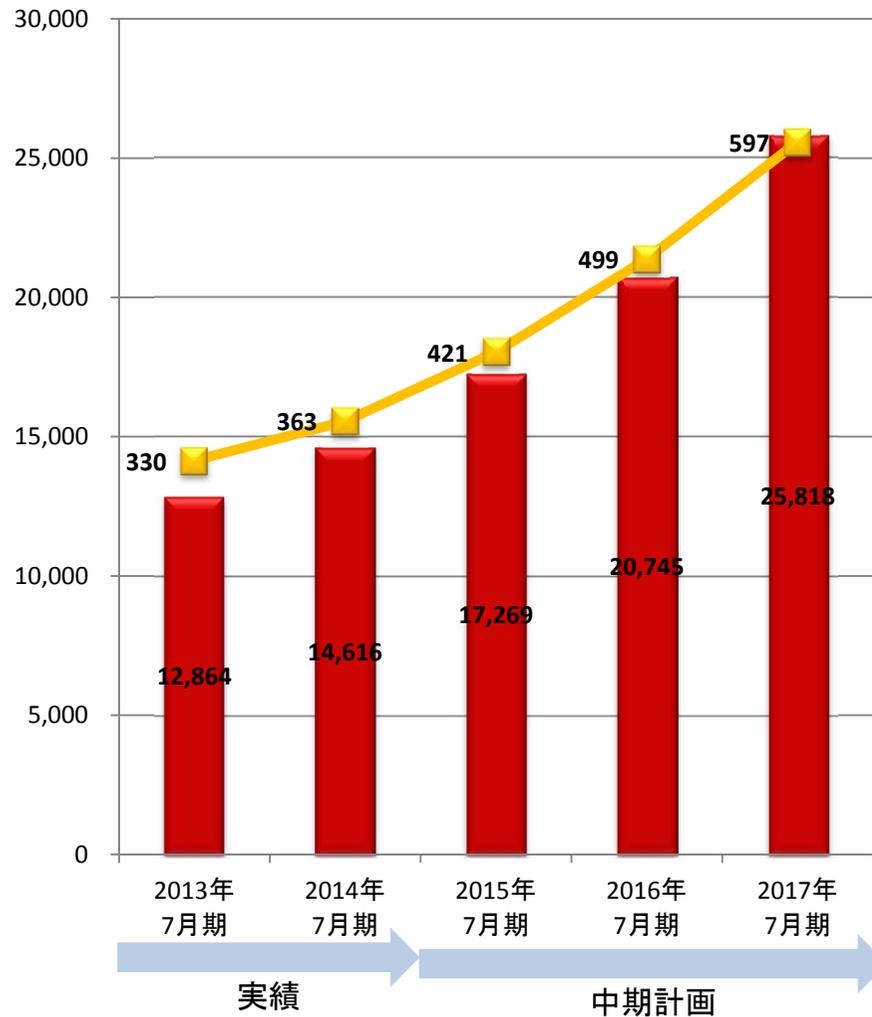


数值目標



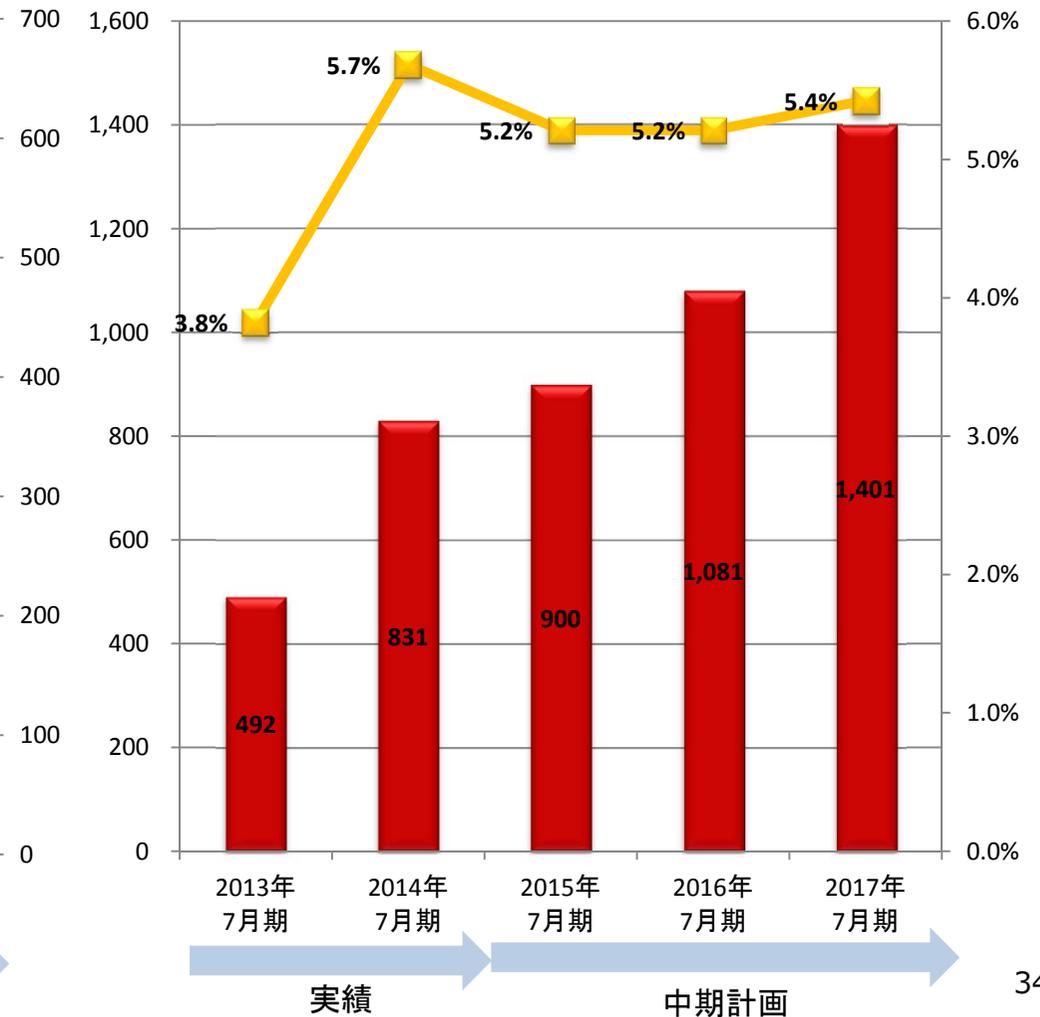
売上高・期末店舗数

■ 売上高 ■ 期末店舗数



経常利益・経常利益率

■ 経常利益 ■ 経常利益率



注意事項



- この資料は投資家の参考に資するため、株式会社鳥貴族(以下、当社)の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものであり、当社株式の購入を勧誘するものではありません。
- 当資料に記載された内容は、2014年7月31日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。
- その他の掲載内容に関しても細心の注意を払っておりますが、不可抗力により情報に誤りを生ずる可能性もありますのでご注意ください。
- 無断での複製又は転用等を行わないようお願いいたします。

お問い合わせ先
株式会社鳥貴族 管理部IR担当
TEL 06-6562-5333
<https://www.torikizoku.co.jp/company/ir/contact/>